

広島市緑化推進審議会における委員の意見に係る素案等への反映状況について

○ 第36回及び第37回広島市緑化推進審議会では出された委員の意見について、素案への反映状況は以下のとおり。

委員名	計画への記載に係る意見の概要	意見に対する素案等への反映状況	
		素案への記載箇所	記載内容
中越会長	<ul style="list-style-type: none"> ① 都心と山林では状況が異なり、それぞれ特性等を踏まえた取組を考える必要がある。中でも、都心の緑に重点を置く必要がある。 ② 広島市にとって平和記念公園の緑は特別な存在であり、この取り扱いについてみどりの基本計画に盛り込む必要がある。 ③ 森林については、自然林と人工林では実施する施策も異なってくることから、区別して扱う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第5章「2 施策方針と施策」 ② 施策②⑪ ③ 施策⑫⑬ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「都心」や「デルタ市街地」、「デルタ周辺部」、「中山間地・島しょ部」といった地域特性に応じた「施策」を記載 都心については、重視すべき視点として「『都市の魅力を高めるみどり』をつくる」を設定したうえで、民有地における質の高い緑とオープンスペースの創出、都心を回遊する「水・花・緑のネットワーク」の形成について記載 ② 「本市を象徴する緑として美しく健全な姿に保つ」ことを記載 ③ 自然林と人工林に対する施策を記載（事業の実施に際して、自然林と人工林に応じた取組を区別して実施）
福島副会長	<ul style="list-style-type: none"> ① 公園を利用する人がどのような形で利用したいかが重要であり、若い人や子供たちを巻き込んで、緑に携わることができるとする取組を行う必要がある。 ② 広島に住む外国人と地域住民が一緒になって、緑を保全する取組を行ってほしい。 ③ 個人の庭にも、森のような緑のある庭があってもいいと思うので、庭に苗木を植える費用を補助してほしい。 ④ 個人宅のブロック塀を生垣などの緑に更新する取組に市が協力してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①② 施策⑱ ③ 施策⑳ ④ 施策⑤⑱ 	<ul style="list-style-type: none"> ①② 幅広い世代や外国人を含む市民、企業など多様な主体が花と緑のまちづくりに参画するきっかけとなる仕組みづくりについて記載 ③ 苗木の配布などによる住宅地の緑化について記載 ④ 「ウォークアブルなまちづくり」の取組と連携した道路空間や隣接する民有地の緑化の推進、「緑地協定制度」や「地区計画制度」などを活用した生垣化による豊かな住宅市街地の形成について記載
朝本委員	<ul style="list-style-type: none"> ① 民有地に対して緑を保全するなどの規制をかけるのであれば財産権の問題があるが、どのように整理するのか。 ② 郊外や中山間地において、高齢化が進み山林の手入れができないという問題についてはどのように対応するのか。 ③ 行政だけでなく民間も財源的に苦しい状況の中で、緑の政策をどのように進めていくのか。 ④ 里山は、相続をきっかけに土地所有者や境界が不明になり、適切な保全が難しくなっていくことなどが増えていくと思われるので、こうした問題への対応には市が関わっていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 施策⑭ ② 施策⑫⑬ ③ 施策⑤⑳ ④ 施策⑫⑬ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 緑の保全については、私有財産と公共の福祉の関係を踏まえ各事業で実施 ② 森林ボランティアの育成や地域産業の推進につながる担い手の育成、森林（もり）を地域資源として生かしたまちづくりの推進など森林の活用について記載 ③ 様々な主体の適切な役割分担による、制度や補助金などを活用した緑の創出について記載 ④ 市民との協働による森林（もり）づくりなどの推進や、森林（もり）を地域資源として生かしたまちづくりの推進など魅力ある里山づくりなど行政が関わる施策について記載
今川委員	<ul style="list-style-type: none"> ① 都心から緑の繋がりが波及して里山に繋がり、広島市を取り巻く山に繋がるような大きな目を見た緑のマスタープランを描く必要がある。 ② 里山に関する施策は盛り込む必要があり、人や緑を育てるという方針の具体的な施策として、シルバー人材が里山を育てたいと思うようになる仕組みづくりを盛り込めば、広島らしい計画になるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第3章「2 みどりの将来像」 ② 施策⑫⑬ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 市域全体における緑のつながりが分かるよう、みどりの将来像図を記載 ② 市民との協働による森林（もり）づくりなどの推進や、森林（もり）を地域資源として生かしたまちづくりの推進など魅力ある里山づくりについて記載
富川委員	<ul style="list-style-type: none"> ① 川を生かすのが重要なので、オープンカフェ等の設置を推進し、河岸緑地に緑を増やす必要がある。 ② 街なかの狭い民有地を活用して花と緑とベンチを設置するなど、人が寄ってくるような空間づくりを検討する必要がある。 ③ 郊外における農林業体験に対して、市の支援を充実させる必要がある。 ④ 街路樹により狭くなっている歩道を歩きやすくするという視点を持ち、よく歩く観光客に優しいまちにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 施策⑨ ② 施策⑤ ③ 施策⑬⑮ ④ 施策④ 	<ul style="list-style-type: none"> ① オープンカフェなど民間活力を活用した魅力ある水辺づくりについて記載 ② 民有地のオープンスペースを活用した公園と同等の空間の創出について記載 ③ 「ふれあい樹林事業」や「市民体験農園」などによる市民が気軽に農林業に触れることのできる機会の提供について記載 ④ 道路空間や周辺環境との調和を重視した街路樹への計画的な再生について記載
長谷川委員	<ul style="list-style-type: none"> ① 自然災害に対して、緑のあり方によっては被害を増大させるため、防災と向き合う時に緑をどう位置付けるのか考える必要がある。 ② 広島市と隣接する市の緑をどうするのか、連携して考える必要がある。 ③ 農地に関するものなど、計画で示した方針については、対応する数値目標を設定する必要がある。 ④ 計画では方針を網羅的に示すことになるので、推進に当たっては、優先順位を付けたうえで実施していく必要がある。 ⑤ アンケート結果をよく分析したうえで、具体的な施策を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 施策⑫⑬ ② 第6章「2 広域的な視点に立った施策の推進」 ③ （推進計画へ記載） ④ （推進計画へ記載） ⑤ 第5章「2 施策方針と施策」 	<ul style="list-style-type: none"> ① 林業の振興や未利用材のまちづくりへの活用による森林の適切な管理について記載 ② 計画の推進に当たっての考え方として「広域的な視点に立った施策の推進」を示し、この視点に立って推進計画に記載する各事業などを実施 ③ 基本計画の計画的な推進を図るため、推進計画において各施策方針などに対応した数値目標を設定 ④ 基本計画の計画的な推進を図るため、推進計画において重点事業を設定 ⑤ アンケート結果の一部を計画に記載するほか、アンケート結果を踏まえ市民ニーズなどに対応した効果的な「施策」を記載
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ① 緑があれば災害が防げるというのではなく、メカニズムを考えた上で緑を位置付ける必要がある。 ② みどりの基本計画の中身は、都心部だけでなく広島市全体で調和の取れた計画とする必要がある。 ③ 民間活用については、主体となる企業などにとってメリットがあるような仕掛けが必要である。 ④ 方針で示したことを実施する際の具体性について、市街地における農地の保全を推進するという方針を示す一方で、宅地並みの課税をするといったような、押しながら引っ張るということにならないよう、関連する施策との調整を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 第4章「重視すべき視点3」 ② 第5章「2 施策方針と施策」 ③ 施策③ ④ 第6章「1 施策の進め方」 	<ul style="list-style-type: none"> ① 重視すべき視点で示したグリーンインフラの考え方を取り入れ、自然の機能を生かすという視点に立って、推進計画に示す森林の保全や活用に関する事業を推進 ② 都心だけでなく本市全体で調和が取れるよう、「中山間地・島しょ部」や「デルタ周辺部」などについても、それぞれの地域特性に応じた「施策」を記載 ③ 民間事業者の収益が確保できるよう、地域特性に応じた手法による民間活力の活用について記載（Park-PFI など具体的な事業実施に際しては、所管課において導入可能性調査等を検討） ④ 素案に示した施策等を進めるための事業実施に当たっては、基本計画で示した方針を踏まえ各事業間で調整を図った上で実施

委員名	計画への記載に係る意見の概要	意見に対する素案への反映状況	
		素案への記載箇所	記載内容
吉長委員	<ul style="list-style-type: none"> ①現在、他都市で実施している Park-PFI は、民間事業者が儲からないため人気がない。広島市で実施する場合は、インセンティブ制度設計を検討する必要がある。 ②Park-PFI だけでなく、柏市のカンニワ制度のように、生産緑地についても政策的に描く必要がある。 ③広島で都市型グリーンツーリズムに取り組み、国際標準にできれば、国際平和文化都市を具現化する取組の一つになるのではないかな。 ④市民が平和に生活していく中で花を活用するという意識が定着するような施策を進める必要がある。 ⑤サイバーとフィジカルが融合する時代を見据えた ICT の活用による広島らしい施策を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①施策③ ②施策⑭ ③施策⑪ ④施策④⑱ ⑤施策⑱ 	<ul style="list-style-type: none"> ①民間事業者が収益を確保できるよう、地域特性に応じた手法による民間活力の活用について記載（Park-PFI など具体の事業実施に際しては、所管課において導入可能性調査等を検討） ②生産緑地制度を緑に関する体系的な施策の一つとして位置付け、生産緑地制度を活用した都市農地の保全について記載 ③緑の地域資源を快適に巡るための魅力的な空間づくりについて記載 ④花の魅力を市民に理解してもらうための公共空間における花と緑を飾る取組の推進や花と緑に親しむきっかけとなる仕組みづくりについて記載 ⑤ I C T を活用した市民がいつでも緑のまちづくりに関わることができる仕組みづくりについて記載
伊木委員	<ul style="list-style-type: none"> ①河岸緑地のオープンカフェを増やせるような仕組みづくりを盛り込む必要がある。 ②広島ならではのものを国内外にアピールできるように、都心部の緑にテーマ性を持たせる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①施策⑨ ②施策⑤⑪ 	<ul style="list-style-type: none"> ①オープンカフェなど民間活力を活用した魅力ある水辺づくりについて記載 ②都市の魅力向上につながる質の高い緑とオープンスペースの創出、都心を回遊する「水・花・緑」のネットワークについて記載
石田委員	<ul style="list-style-type: none"> ①1人1鉢運動を進め、まち全体を花で飾ることで佐伯区全体を植物園化していきたい。 ②地域で花を飾る取組を支援する制度について、活動団体等の実情に合わせた使いやすい制度に見直す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①施策⑯⑰⑱ ②施策⑱ 	<ul style="list-style-type: none"> ①市民意識の醸成や「みどりづくり」に関わる人材の育成と仕組みの整備について記載 ②多様な主体が参画できるような仕組みについて記載（実際の制度運用に当たっては、活動団体等の実情などを踏まえた見直しを実施）
高松委員	<ul style="list-style-type: none"> ①若い人がボランティアに参加したいと思うようなメリットを仕組みとして検討する必要がある。 ②緑化フェアを一過性のもので終わらせず、イベントの開催を契機とした取組を継続していく必要がある。 ③海外から贈られた樹木が多くあることについて、海外などでも知ってもらえるような取組を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①施策⑱ ②施策⑯ ③施策㉑ 	<ul style="list-style-type: none"> ①幅広い世代や外国人を含む市民、企業など多様な主体が参画するきっかけとなる仕組みづくりについて記載 ②緑化フェアの成果を継承した春及び秋のグリーンフェアにおける様々な主体との連携や展示や企画の充実、地域で生産された花きの活用について記載 ③寄付樹木や供木に関する国内外からの来訪者などへの発信について記載
西本委員	<ul style="list-style-type: none"> ①都市生産緑地を積極的に進める必要がある。 ②里山の存続は危機的な状況にあるため、手遅れにならないうちに里山の維持を支援する制度などを周知し、里山を長く市民が利用できるような施策を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①施策⑭ ②施策⑫⑬ 	<ul style="list-style-type: none"> ①生産緑地制度を緑に関する体系的な施策の一つとして位置付け、生産緑地制度を活用した都市農地の保全について記載 ②市民との協働による森林（もり）づくりなどの推進や、森林（もり）を地域資源として生かしたまちづくりの推進など魅力ある里山づくりについて記載
野口委員	<ul style="list-style-type: none"> ①緑化推進制度については、事業者（建築主）の理解を得られるよう、緑の役割を示すとともに、事業者に分かりやすいものである必要がある。また、緑化や緑地の管理運営には費用がかかるため、民有地緑化に対する行政のサポートが必要である。 ②都心など緑化スペースの限られる地域では、緑視率の向上という視点からも壁面緑化の推進が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ①施策⑲ ②施策⑲ 	<ul style="list-style-type: none"> ①民有地緑化推進事業補助金の活用による民間主体と連携した緑化推進制度の運用について記載 ②ヒートアイランド現象の緩和や、潤いとやすらぎのある都市環境の向上に寄与する建築物の壁面、屋上の緑化の推進について記載
吉川委員	<ul style="list-style-type: none"> ①森林が供給する木材は多様な機能で都市の魅力づくりに貢献しており、広島市においてもこうした機能をうまく活用し、魅力とを活気あふれるまちづくりを進める必要がある。 ②広島市には森林ボランティアとして多くの団体が活動しているので、こうした団体と連携し、人材の育成などを進める必要がある。 ③森林の保全と活用については、補助金がないと成り立たないので、「ひろしまの森づくり県民税」や「森林環境譲与税」を活用し、森林資源の適正な管理に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①施策⑫⑬ ②施策⑫ ③施策⑫⑬ 	<ul style="list-style-type: none"> ①林業基盤の整備など林業の振興による森林の保全や、間伐材等の利活用など森林（もり）を地域資源として生かしたまちづくりの推進について記載 ②森林ボランティアとの連携による自主的活動を行う人材の育成について記載 ③「ひろしまの森づくり県民税」や「森林環境譲与税」の有効活用による森林資源の適正な管理について記載
和田委員	<ul style="list-style-type: none"> ①花き業界では、地元の生産者が生産した花苗を地元の小売店で売るという取組を実施している。広島市もこうした業界の取組を受け、周辺市町と連携した地元の花き業界の活性化という視点から後続く施策を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ①施策⑯ 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域経済の活性化につながるみどりのローカル経済圏の考え方を取り入れた花きの活用に係る仕組みづくりについて記載

※各施策における具体的な事業の内容やスケジュール等については、「みどりの基本計画」の施策に基づいて「みどりの推進計画」へ記載する。